

欧州自動車産業ニュース

No. 947

2024年9月13日号



独BMWグループ、通期予想を下方修正 ブレーキ不具合で大規模リコール

独ダイムラー・トラック、新CEOにロードストローム氏
ノースボルト、戦略見直し・事業合理化

ノキアンタイヤとリセロが開発合意、
残留白樺樹皮をタイヤ素材に活用

© European Community

※ PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

英新車登録、8月は1.3%減.....4

企業情報

自動車メーカー

独ダイムラー・トラック、新CEOにロードストローム氏5
独BMWグループ、通期予想を下方修正6
ボルボ・カーズ、新開発のインフォテインメントシステムを順次導入6
ボルボ・カーの8月販売3%増、欧州・BEVモデル好調も中国は低迷.....7
DSオートモビル、内装グレードの新基準を「DS 7」と「DS 3」にも導入.....7

部品メーカー

ノースボルト、戦略見直し・事業合理化8
セルセントリック、次世代燃料電池システムの仮想3Dモデルを出展=IAA8
蘭ヒア、タイのバイク便大手に位置情報サービスを提供.....9
英と大陸欧州で産業用電気料金に大きな差=UKスチール9

クローズアップ

EcoDuo 10

欧州自動車短信

オペル、ソラリス..... 11

一般・その他

欧州半導体業界、EUに「半導体法」見直しを要求	12
EU当局、エアバス「A350-1000」のエンジン検査を指示	12
米イルミナのグレイル買収巡る訴訟、EUが逆転敗訴	13
コロナ復興基金の活用停滞、欧州会計検査院が苦言	13
EUがAI国際条約に署名、米英などと同時に	14

テクノロジー・トレンド

ノキアタイヤとリセロが開発合意、残留白樺樹皮をタイヤ素材に活用	15
---------------------------------------	----

目で見える欧州自動車産業ニュース

スイス、乗用車新車登録:2024年1～6月	16～17
-----------------------------	-------

企業名索引.....15

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

英新車登録、8月は1.3%減

英自動車工業会（SMMT）は5日、同国の2024年8月の乗用車新車登録が8万4,575台となり、前年同月に比べ1.3%減少したと発表した。8月は、ナンバープレートが切り替えられる9月の前の月となるため、一年の中でも新車登録が少ない傾向がある。1～8月の累計は、前年同期比5.1%増の123万8,855台だった。

8月の顧客別の登録台数は、全体の60.7%を占める大口法人が前年同月比1.2%減の5万1,329台と、前年同月をやや下回った。小口法人も前年同月比30.3%減の1,136台と、法人向け販売が低迷した。個人は前年同月比0.2%増の3万2,110台とほぼ横ばいだった。

8月の燃料別の登録台数は、電気自動車（BEV）が、前年同月比10.8%増の1万9,113台で、市場シェアを22.6%に拡大した。メーカーによる夏季の大幅な値引きと、多数の新モデルが購入者を惹きつけた。ハイブリッド車（HEV）も前年同月比36.1%増の1万1,639台と好調で、市場シェアを13.8%に拡大した。プラグインハイブリッド車（PHEV）は前年同月比12.3%減の5,786台（市場シェア：6.8%）にとどまった。

ガソリン車は前年同月比10.1%減の4万2,872台と、大幅に減少したものの、市場シェアは50.7%と半数以上を占めている。ディーゼル車は前年同月比7.3%減の5,165台で、市場シェアは6.1%だった。

BEVの1～8月の累計の市場シェアは17.2%。2024年末までに18.5%（約36万4,000台）に拡大すると予想されている。

英国、乗用車新車登録台数：顧客別 2024年					
8月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
個人	32,055	37.4%	32,110	38.0%	0.2%
大口法人	51,972	60.7%	51,329	60.7%	-1.2%
小口法人	1,630	1.9%	1,136	1.3%	-30.3%
新車登録総数	85,657		84,575		-1.3%
1～8月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
個人	527,426	44.7%	468,345	37.8%	-11.2%
大口法人	623,699	52.9%	743,259	60.0%	19.2%
小口法人	28,173	2.4%	27,251	2.2%	-3.3%
新車登録総数	1,179,298		1,238,855		5.1%
出所：英自動車工業会（SMMT）					

英国、乗用車新車登録台数：燃料別 2024年					
8月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
ディーゼル	5,574	6.5%	5,165	6.1%	-7.3%
ガソリン	47,688	55.7%	42,872	50.7%	-10.1%
電気自動車（BEV）	17,243	20.1%	19,113	22.6%	10.8%
プラグインハイブリッド車（PHEV）	6,601	7.7%	5,786	6.8%	-12.3%
ハイブリッド車（HEV）	8,551	10.0%	11,639	13.8%	36.1%
新車登録総数	85,657		84,575		-1.3%
1～8月					
カテゴリー	2023年	市場シェア	2024年	市場シェア	変動率
ディーゼル	92,043	7.8%	80,093	6.5%	-13.0%
ガソリン	669,034	56.7%	674,312	54.4%	0.8%
電気自動車（BEV）	193,221	16.4%	213,544	17.2%	10.5%
プラグインハイブリッド車（PHEV）	80,458	6.8%	100,457	8.1%	24.9%
ハイブリッド車（HEV）	144,542	12.3%	170,449	13.8%	17.9%
新車登録総数	1,179,298		1,238,855		5.1%
※ディーゼル、ガソリンにはマイルド・ハイブリッド車（MHEV）が含まれる					
出所：英自動車工業会（SMMT）					

<AI22208>

企業情報

■自動車メーカー■■■■■■■■■

独ダイムラー・トラック、新 CEO にロードストローム氏

独商用車大手のダイムラー・トラックは4日、最高経営責任者（CEO）の交代人事を発表した。2024年10月1日付でカリン・ロードストローム氏が新 CEO に就任する。任期は2029年1月31日まで。現行のマーティン・ダウム CEO は2024年9月30日付で退任する。なお、ダウム氏は2024年12月31日まで取締役会にとどまり、円滑な移行をサポートする。

ダウム氏は1987年にダイムラー・ベンツ（当時）に入社し、ダイムラー・トラック・ノース・アメリカの責任者を務めるなど、ダイムラー・トラックの成長に寄与してきた。2017年にダイムラー（当時）のトラック・バス担当取締役役に就任してからは、増収増益により、将来技術に対する投資の柔軟性を高め、バッテリーおよび水素ベースの両方の駆動技術で技術革新を推進してきた。

後任のロードストローム氏は、2021年にダイムラー・トラックの取締役役に就任して以来、メルセデスベンツ・トラックの責任者を務めてきた。ダイムラー・トラックに入社する前は、スウェーデン商用車大手のスカニアの取締役役として、販売・マーケティング部門の責任者を務めていた。スウェーデン出身で、ストックホルム王立工科大学でインダストリアル・マネジメントの工学修士号を取得した後、2004年にスカニアで研修生としてキャリアをスタートした。その後、スカニアの販売・サービス分野でバス事業やデジタルおよびコネクテッド・ビークル事業の構築など、さまざまな上級職を歴任してきた。



Karin Radstrom 氏が新 CEO に就任
Daimler Truck AG

<AI22209>

独 BMW グループ、通期予想を下方修正

独自動車大手の BMW グループは 10 日、2024 年通期決算の予想を下方修正した。ブレーキシテムの不具合により自動車部門で追加的な財務負担が発生することが主因。合計で 150 万台以上が出荷停止およびリコールの対象となり、第 3 四半期に数億ユーロの追加費用が発生する。中国市場で需要低迷が続いていることも業績に影響している。

メディア報道によると、不具合が発生したのは、独自動車部品大手のコンチネンタルが供給しているインテグレートッドブレーキシテム (IBS) で、BMW は 3 月にすでに当該システムの不具合を理由にドイツで 4 万 7,000 台、米国で約 8 万台のリコールを実施していた。さらに厳密な調査を進めた結果、大規模な対応が必要となった。

対象となる 150 万台は BMW グループ全体の通期の乗用車販売 (2023 年：255 万台) の半数以上に相当する。すでに出荷済みの約 120 万台に加え、出荷前の約 32 万台が対象となる。

具体的には、BMW グループの自動車部門の通期予想を下記に下方修正した：

- ◇出荷台数：前年をやや下回る見通し (従来予想：前年をやや上回る見通し)
- ◇ EBIT ベースの利益率：6～7% (従来予想：8～10%)
- ◇ RoCE (使用資本利益率)：11～13% (従来予想：15～20%)
- ◇フリーキャッシュフロー：40 億ユーロ以上 (従来予想：60 億ユーロ)
- ◇最終利益：前年を大幅に下回る見通し (従来予想：前年をやや下回る見通し)

■ 自動二輪部門も通期予想を下方修正

同社はこれに加え、自動二輪部門についても通期予想を下方修正した。中核市場である中国と米国における業績低迷を理由としている。具体的には、◇出荷台数：前年並みにとどまる見通し (従来予想：前年をやや上回る見通し) ◇ EBIT ベースの利益率：6～7% (従来予想：8～10%) ◇ RoCE (使用資本利益率)：14～16% (21～26%) ——に修正した。

<AI22210>

ボルボ・カーズ、新開発のインフォテインメントシステムを順次導入

スウェーデン乗用車大手のボルボ・カーズは 4 日、最新世代のインフォテインメントシステムの導入を順次進めると発表した。新たなユーザーエクスペリエンスを体現できるとされる同システムは現在、SUV「XC90」の最新モデルに搭載されている。

新しいインフォテインメントシステムは 2020 年以降に製造された車両を対象に、25 年中に OTA (無線通信によるソフトウェアの自動更新) によりアップデートされることになる。該当するユーザー数は全世界で約 250 万人。

更新は段階的に行う。同社のインフォテインメントシステムのアップデートとしてはこれまでで最も包括的な内容となる。一例として、プラグインハイブリッド (PHV) モデル向けに画面をタップするだけで電動モードに切り替えられる機能を搭載する。

アップデートの対象車種は、「C40」、「XC40」、「EX40」、「EC40」、「S60」、「V60」、「V60 クロスカントリー」、「XC60」、「S90」、「V90」、「V90 クロスカントリー」、「XC90」の各モデル。

<AI22211>

ボルボ・カーの8月販売3%増、欧州・BEVモデル好調も中国は低迷

スウェーデンの乗用車大手、ボルボ・カーが5日に発表した8月の世界販売は前年同月比3%増の5万2,944台となり、6カ月連続で増加した。主力市場の欧州と完全電気自動車（BEV）のSUV「EX30」や「EX40」の販売好調が全体をけん引した一方、中国市場では落ち込みが目立ってきた。

8月の販売台数を地域別に見ると、欧州が32%増の2万1,119台と大きく伸びたものの、不振が続く中国は23%減の1万2,185台に後退。米国も2%減の1万420台に低迷した。その他の地域は横ばいの9,220台だった。

BEVやプラグインハイブリッド車（PHV）などの電動モデルは8月の世界販売で47%、欧州販売の73%を占めた。このうちBEVは世界販売の25%を占めている。

電動モデルの8月の世界販売は47%増の2万5,028台。欧州（52%増の1万5,494台）、米国（47%増の3,933台）、その他の地域（44%増の4,368台）、中国（10%増の1,233台）といずれの地域も2桁増の伸び率を記録した。

BEVモデルは101%増の1万3,418台に急拡大した。最多の欧州は137%増の9,980台に急伸。中国（18%増、236台）、その他の地域（89%増の2,614台）も好調だった。米国は32%減の588台と振るわなかったが、PHVが好調で、84%増の3,345台に拡大している。

8月の販売をモデル別に見ると、SUV「XC60」（1万4,723台）と「XC40/EX40」（1万668台）に加えて「EX30」（8,346台）が好調だった。

<AI22212>

DSオートモビル、内装グレードの新基準を「DS 7」と「DS 3」にも導入

欧州自動車大手のステランティスは3日、傘下的高级車ブランドであるDSオートモビルが内装グレードの新基準「パラス（Pallas）」と「エトワール（Etoile）」を、「DS 4」に続き「DS 7」と「DS 3」にも導入すると発表した。グレード数を絞り込み、各モデル共通とすることで、特徴を顧客に伝えやすくする。また、「DS 7」はプラグインハイブリッド（PHV）モデルの名称も変更する。

1964年以来の再導入となるパラスに対し、エトワールは上位のグレードとなる。2つのグレードにはホイールのインチサイズやシートの材質、デジタル装備の性能などに違いがあるが、どちらもオプションでレベル2の自動運転機能を追加できる。

「DS 7」のPHVモデルの名称はこれまで「E-TENSE 225」、「E-TENSE 4x4 300」、「E-TENSE 4x4 360」だったが、これをそれぞれ「PLUG-IN HYBRID 225」、「PLUG-IN HYBRID AWD 300」、「PLUG-IN HYBRID AWD 360」に変更する。PLUG-IN HYBRID AWD 360にはエトワール仕様のパフォーマンスモデルを設定する。

<AI22213>

■部品メーカー■

ノースボルト、戦略見直し・事業合理化

スウェーデンの電池メーカー、ノースボルトは9日、世界的なバッテリー業界における競争力の強化に向けた現在進行中の戦略見直しについて、最初の具体的な取り組みを明らかにした。セルの量産に経営資源を注力する方針であり、コスト削減や工場の売却、将来の戦略提携先の模索を進めていく。なお、事業の合理化に伴う人員削減については現在、労働組合と協議中であり、今後、具体的な規模などを最終決定する。

戦略の見直しは、厳しいマクロ経済環境と同社の短期的な優先事項の再評価を反映したもので、最初の取り組みとして、◇スウェーデンのシェレフトオにあるカソード材の生産施設の操業の一時停止◇スウェーデンのボルレンゲにあるカソード材工場の売却◇バッテリーシステム、バッテリーパックを生産するポーランドのグダニスク工場に関心を持つ投資家および潜在的な将来のパートナーとの協議◇米カリフォルニア州の子会社キューバーク（Cuberg）を通して実施してきたリチウム金属電池技術の研究開発をスウェーデンのヴェステロースにある R & D キャンパス「ノースボルト・ラボ」に移管——を決定した。

セルの量産に経営資源を注力する戦略には、スウェーデンのシェレフトオで進めるリチウムイオン電池のギガファクトリーの第1フェーズの立ち上げ、「ノースボルト・ラボ」の活用の継続などが含まれている。

NOVO（スウェーデン）、Northvolt Drei（ドイツ）、Northvolt Six（カナダ）の3拠点も保持する方針だが、今後のタイムラインの修正やコスト削減措置について秋に決定する予定としている。

ノースボルトの共同創業者であるピーター・カールソン最高経営責任者（CEO）は今回の発表に際し、「現時点では状況は厳しいものの、世界的な電動化への移行、ノースボルトを含むセルメーカーの長期的な見通しが堅調であることに疑いの余地はない」との見解を示している。

<AI22214>

セルセントリック、次世代燃料電池システムの仮想 3D モデルを出展 = IAA

商用車大手の独ダイムラー・トラックとスウェーデンのボルボ・グループの合弁会社で燃料電池システムの開発・生産・販売を事業とするセルセントリックは3日、ドイツのハノーバーで開催される商用車見本市「IAA トランスポーターション」（開催日：9月17～22日、9月16日：プレスデー）に同社の次世代燃料電池システム（NextGen）の仮想 3D モデルを出展すると発表した。

NextGen は、大型長距離トラック向けのシングルパッケージ燃料電池システム。セルセントリックは、仮想 3D モデルにより次世代燃料電池システムの大きさや設計についての将来像を示す。また、市場を主導する総所有コスト（TCO）の実現に向けた NextGen の性能データも提示する。

同社は現在、開発フェーズとプロトタイプを生産を終え、量産に向けた前段階にある。独南部シュツットガルト近郊のエスリンゲンで先ごろ、パイロット生産施設の開所式を行った。このパイロット生産施設では、燃料電池システムの効率的な生産技術の確立を目指す。量産は約 30 キロメートル離れたヴァイルハイムの拠点で 2030 年末までに開始する予定。

<AI22215>

蘭ヒア、タイのバイク便大手に位置情報サービスを提供

蘭デジタル地図大手のヒア・テクノロジーズは 5 日、タイのオンデマンド配達サービス大手 Skootar に、配達住所や車両位置を正確に検出・特定するジオコーディングおよびルーティングサービスを提供していると発表した。Skootar は同サービスを活用して効率的かつ正確な配達ができ、顧客満足度の維持に成功しているという。

Skooter はバンコクなどの大都市でバイク便サービスを展開している。当初は信書の配達から始め、その後電子商取引（EC）や食品配達などにサービスを拡大した。オンデマンド配達市場は競争が激しく、配達ルート最適化と配達員の健康確保がサービスの質と顧客満足度の向上に不可欠となっている。ヒアは Skooter の業態に合わせてカスタマイズしたソリューションを提供することで同社の成長を支えている。

Skooter は 2018 年からヒアの位置情報や地図サービスを活用している。同社は声明で、「ヒアの高度なジオコーディングとルーティング機能は当社に欠かせないものとなっている。顧客の多様な配送ニーズに柔軟に応えるうえで重要な役割を担っている」と述べた。

<AI22216>

英と大陸欧州で産業用電気料金に大きな差=UK スチール

英国の鉄鋼産業の業界団体 UK スチールは 2 日、産業用電気料金に関する最新の報告書をもとに、国内の鉄鋼メーカーと欧州の競合企業が支払う電気料金には依然として大きな差があることを明らかにした。報告書ではまた、電気料金を大陸欧州並みに引き下げよう提言している。

報告書によると、英国の鉄鋼メーカーはフランスやドイツの競合企業と比べて電気料金を最大 50%、金額にして 3,700 万ポンドを余計に支払っている。2024 年/25 年度の英国内の平均電力料金は 1 メガワット時（MWh）あたり 66 ポンドだが、フランスが 43 ポンド、ドイツは 50 ポンドと、最大で 23 ポンドの差がある。

報告書では料金の引き下げに向けて、◇仏独の支援水準に合わせ、業界企業に対し料金の 90% を補償する◇卸売市場改革を実行し、地域別の価格設定を割引する◇各国間の産業エネルギー価格の差を追跡調査する——の 3 つを提言している。

UK スチールによると、鉄鋼業界は環境負荷の低い電気炉の導入などを通じて完全な電化を目指しており、業界の競争力や収益性、成長にとって電気料金の重要性は増している。鉄鋼生産は電気使用量が大きいため、電気コストが付加価値総額（GVA）の 180% を占めるケースもある。現在、英鉄鋼業界の電力消費量は 80 万世帯分に相当しており、電気炉の導入で同消費量は 2 倍に膨らむと予想されている。

<AI22217>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々 1,000～3,000 ユーロから





EcoDuo

複数の輸送手段を組み合わせるインターモーダル輸送に関するパイロットプロジェクト。1台のトラクターに標準的なセミトレーラー 2 台を連結するトラック輸送と鉄道貨物輸送を組み合わせる方法をドイツとスペイン間で実証試験する。

独自自動車工業会 (VDA) がプロジェクトを主導しており、独トレーラー製造大手のシュミット・カーゴブル、スペイン物流大手の Sese、独自自動車大手のフォルクスワーゲン (VW)、独技術監査サービス大手のテュフ・ラインラントなどが参加している。

スペインと北欧で実施した同様のパイロットプロジェクトで好結果を得られたため、ドイツでも 1 年間のパイロットプロジェクトを実施する。

具体的には、1 台のトラクターにセミトレーラー 2 台を連結したトラック (全長: 31.70 メートル) が VW のヴォルフスブルク工場と 70 キロメートル離れたハノーバー近郊のレールテにあるターミナル (MegaHub) 間を走行する。

その後、鉄道により 1,700 キロメートルの距離をスペインまで輸送し、バルセロナの積み替えステーションで再び個々のセミトレーラーを連結してトラック輸送で目的地まで輸送する。

VW グループはこれまで、ドイツとスペイン間のコンテナ輸送をトラックのみで実施してきた。寸法が標準とは異なるロングトラックに対し、標準のセミトレーラーは鉄道輸送車両に簡単に積み込むことができる利点がある。

当該コンセプトでは、1 人のドライバーがトレーラー 2 台分の貨物を同時に輸送できるため、◇燃料消費量および CO2 排出量の削減◇交通量の削減◇ドライバー不足の緩和——などの利点があると見込まれている。

プロジェクトでは、1 年間の実証試験で得られた知見から利点やリスクを評価し、結果を最終報告書にまとめる予定。

ドイツのハノーバーで開催される商用車見本市「IAA トランスポーターション」(開催日: 9 月 17 ~ 22 日、プレスデー: 9 月 16 日)では、屋外エリア(スタンド: T81)で当該コンセプトを展示している。



出所: Schmitz Cargobull

欧州自動車短信

■ 欧州自動車大手ステランティス傘下の独**オペル**は、ドイツのハノーバーで開催される商用車見本市「IAA トランスポート」(開催日: 9月17～22日、プレスデー: 9月16日)で水素燃料電池を搭載する大型商用バン「モヴァノ・ハイドロジェン」を世界初公開する。同モデルは、5分以内で水素燃料をフル充填し、500キロメートル以上(WLTPモード)を走行することができる。電気モーターの出力は110kW(150PS)、最大トルクは410Nm。発進・加速をサポートする11キロワット時のリチウムイオン電池も搭載している。なお、オペルはすでに電気駆動の「モヴァノ・エレクトリック」をラインアップに持っている。



出所: Stellantis / Opel

■ 独ケルン市の地域交通事業者 RVK は9月初め、ポーランドのバス製造大手**ソリス**から調達した水素を燃料とする連接バス「ウルビーノ18ハイドロジェン」の運行を開始した。運行を開始したのは8台で、RVKが2023年9月に発注した当該モデル18台の一部。RVKは今年3月にも全長12メートルの「ウルビーノ12ハイドロジェン」を9台、「ウルビーノ18ハイドロジェン」を11台、計20台をソリスに発注している。RVKはすでにソリスの水素バスを46台保有しており、昨年9月と今年3月に発注した計38台を合わせると保有台数は計84台に拡大する。「ウルビーノ18ハイドロジェン」の航続距離は350キロメートル。100kWの燃料電池を搭載しており、ルーフ部分に配置した8本のタンクに計50キログラム超の水素燃料を貯蔵することができる。

<AI22218>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



一般・その他

欧州半導体業界、EUに「半導体法」見直しを要求

欧州の主要半導体メーカーが加盟する業界団体の欧州半導体産業協会（ESIA）は2日、欧州連合（EU）に「欧州半導体法」を見直し、域内半導体企業への支援を強化するよう求める声明を発表した。

2023年9月に発効した半導体法は、EU域内での半導体製造増強を支援するのが目的。世界的な半導体の供給不足や、域内供給の多くを東アジアからの輸入に依存している現状を踏まえ、30年までに官民で430億ユーロを投じ、開発拠点や生産設備の増強を後押しするほか、有力メーカーの誘致にも力を入れ、アジアなど域外への依存度を下げて安定供給を確保する狙いがある。世界の半導体生産に占めるEUのシェアを現在の約10%から30年には20%以上に引き上げるという目標を掲げている。

ESIAは声明で、11月に新体制が発足する欧州委員会が半導体法の改良版「半導体法2.0」を早期に成立させ、業界への支援を強化する必要があると指摘。具体的には支援を迅速に実施することや、欧州企業が既に優位にある分野を重点的に支援するよう求めている。

また、同法がEUからの半導体輸出を制限している点について、技術流出防止や安全保障の面で理解できるとしながらも、「制限的、保護主義的な守勢のアプローチより、支援や優遇措置に基づく経済安全保障にとってポジティブなアプローチが必要だ」と指摘した。

このほか、半導体産業の「政策的アプローチ」を統括する「特使（Envoy）」の任命も求めている。

これまでにEUは半導体法に沿って、半導体大手の台湾積体回路製造（TSMC）がインフィニオンなど欧州3社と共同でドイツ東部のドレスデンに工場を建設するプロジェクトに独政府が50億ユーロを助成することなどを承認した。

一方、米インテルが独東部マグデブルクに半導体工場を開設するプロジェクトに対する助成の承認は22年3月に計画が発表されたにもかかわらず下りておらず、着工に至っていない。

輸出制限をめぐっては、オランダの半導体製造装置大手ASMLが中国の顧客に対する輸出の半分以上を禁じられており、同国政府が懸念を示している。

ESIAにはASML、独インフィニオン、オランダのNXP、スイスに本社を置くSTマイクロエレクトロニクスなどが加盟している。

<AI2219>

EU当局、エアバス「A350-1000」のエンジン検査を指示

EU航空当局の欧州航空安全局（EASA）は5日、エアバスの大型機「A350-1000」を運用する航空各社に対して、エンジン検査を実施するよう指示した。香港のキャセイ・パシフィック航空で、同型機のエンジンが飛行中に火災した問題に対応する措置となる。

2日に起きたキャセイ・パシフィック機の事故では、エンジン部品の燃料漏れが原因であることが判明している。

これを受けてEASAは、「予防的措置」として航空各社に3～30日以内に燃料ホースの目視検査を行い、問題が発覚した場合は適正に対応するよう求めている。

<AI22220>

米イルミナのグレイル買収巡る訴訟、EU が逆転敗訴

EU 司法裁判所は 3 日、遺伝子解析装置大手の米イルミナによる米がん診断技術会社グレイルの買収を巡る欧州委員会の決定を不当とし、無効とする判決を下した。下級審の一般裁判所は欧州委を支持したが、上級審の EU 司法裁は原判決を覆し、イルミナに軍配を上げた。

イルミナは 2020 年に 80 億ドルでグレイルを買収することで合意。欧州委は 21 年 6 月に買収の可否に関する審査を開始した。しかし、イルミナは審査が終わる前の 21 年 8 月に一方的に買収手続きを完了したことから、欧州委は 23 年 7 月、同社に EU 競争法違反で 4 億 3,200 万ユーロの制裁金支払いを命じた。さらに、10 月にはイルミナに対して、グレイルを手放し、原状回復するよう命じていた。

欧州委は合併・買収に関して、対象企業の EU 域内での売上高が一定水準を超える場合に可否を審査するのが原則となっている。イルミナのグレイル買収のケースは、両社とも EU に拠点がなく、域内での売上高もゼロであることから、本来は審査対象外だが、フランスやベルギー、オランダなどの当局の要請を受けて審査に着手した。

これに対して、イルミナは欧州委に管轄権はないとして、一般裁判所に提訴したものの、22 年に敗訴。これを不服として上級審の EU 司法裁に上訴していた。

欧州委は加盟国当局から要請があった場合は、買収案件が売上高の基準を満たしていなくても審査する権限があると主張していた。しかし、上級審では権限の逸脱と判断され、逆転敗訴となった。

すでにイルミナは欧州委の命令に従い、6 月にグレイルを手放し、現在は株式 14.5% だけを保有している。今回の判決で買収が復活することはないが、同社は制裁金を支払う必要はなくなったとしている。

<AI22221>

コロナ復興基金の活用停滞、欧州会計検査院が苦言

欧州連合 (EU) の欧州会計検査院 (ECA) は 3 日に公表した報告書で、新型コロナウイルスの感染拡大で大きな打撃を受けた EU 経済の復興を後押しするため創設された「復興基金」の活用が、2023 年末時点で 3 割に満たないとして、苦言を呈した。

ECA が問題視したのは、復興基金の中核となる「復興・強靱化ファシリティー (RRF)」からの交付の停滞。RRF は 2021 年に創設された総額 7,240 億ユーロの基金で、補助金と融資の形で加盟国に分配される。使途が地球温暖化対策、デジタル化推進などの事業に限定されており、加盟国は事前に事業計画を欧州委に提出し、審査を受ける必要がある。26 年 8 月が分配の期限となっている。

報告書によると、RRF 運用の中間点に当たる 23 年末時点で加盟国が受け取った資金は 2,130 億ユーロ。資金全体の 30% を割り込んでいる。さらに、加盟国に供与された資金のうち、対象事業を手がける企業などに渡ったのは 5 割程度にとどまる。

スウェーデン、フィンランド、アイルランド、ポーランド、ハンガリーの 7 カ国は 23 年末時点で交付はゼロだ。割り当てられた資金の 50% 以上を受け取ったのはフランスだけだった。

ECA は大半の加盟国が物価高、物資の不足、EU の環境政策の不透明性、行政能力の欠如などで事業計画提出が遅れていることが資金供与停滞の主因と指摘。交付期限が 3 年後に迫る中、このままでは RRF の資金を消化しきれず、予定されていたプロジェクトが実現しない恐れがあるとの懸念を示した。

<AI22222>

EU が AI 国際条約に署名、米英などと同時に

欧州連合（EU）と米国、英国など 10 カ国・地域は 5 日、人工知能（AI）に関する初の国際条約に署名した。条約は 5 カ国・地域以上が批准すれば発効となる。

この国際条約は、AI を人権や民主主義、法の支配を損なわないように活用していくのが目的。EU で 8 月 1 日に発効した「AI 規制法」と理念が重なる。人権、民主主義、法の支配の分野で国際社会の基準策定を主導する国際機関の欧州評議会（46 カ国が加盟）が 5 月に採択していた。

今回署名したのは EU のほか米、英、ノルウェー、アイスランド、イスラエル、モルドバ、ジョージア、サンマリノ、アンドラ。

署名した国は AI 利用をめぐり人権侵害などが生じた際に責任を持つことなどが求められる。

<AI22223>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

ノキアタイヤとリセロが開発合意、残留白樺樹皮をタイヤ素材に活用

フィンランドのタイヤ大手ノキアタイヤは 4 日、スウェーデンのバイオマテリアル開発会社リセロ (Reselo) と開発合意書を締結したと発表した。リセロの再生可能素材「Reselo Rubber」をタイヤの潜在的な新しい原材料としてさらに開発する。

「Reselo Rubber」は、世界のパルプ・紙・合板産業の残留物から得られる白樺樹皮を原料とする再生可能素材。両社は協力により、この素材をさらに開発し、市販タイヤの生産に活用できるようにする。

ノキアタイヤによると、実験室での初期テストでは、当該素材が従来の化石ベースの素材の代替としてタイヤに活用できる大きな潜在性を持つことが確認されている。この素材はさらに、再生可能であるだけでなく、タイヤの性能特性の向上にも活用できる可能性がある。

リセロは、ノキアタイヤが実施したより持続可能なタイヤの実現に向けたイノベーションチャレンジ「ファストレース・ビッグチャレンジ (FAST RACE, BIG CHANGE)」の優勝企業。

ノキアタイヤは持続可能性に関する目標の一つとして、2030 年までに同社のタイヤの原材料に占める再生可能またはリサイクル材料の割合を 50%とする目標を掲げている。

<AI22224>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

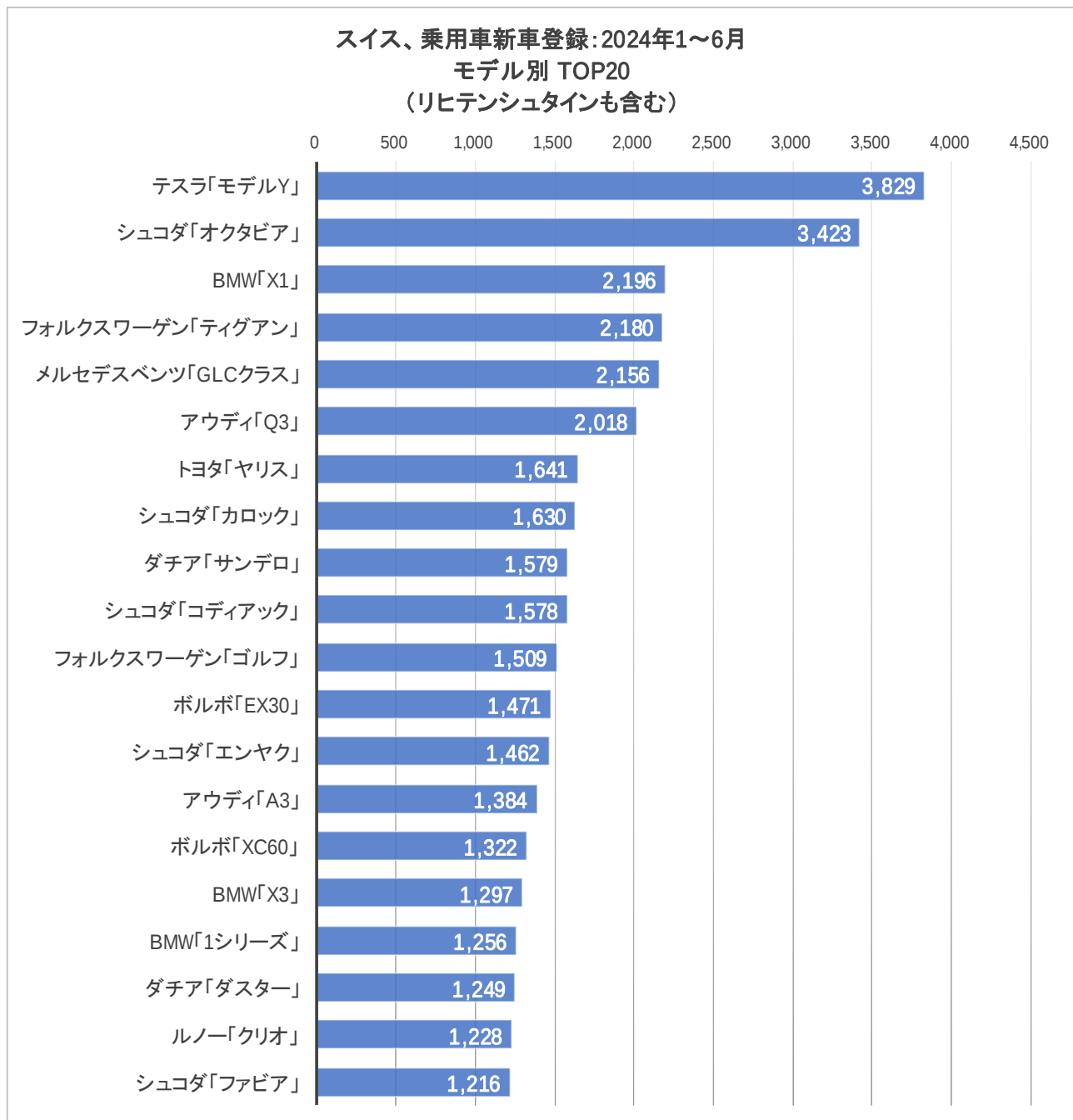
Index

企業名	掲載頁		
BMW Group	6	Schmitz Cargobull	10
Cellcentric	8	Solaris	11
Daimler Truck	5	Stellantis／DS	7
Here	9	Stellantis／Opel	11
Nokian Tyres	15	Volvo Cars	6,7
Northvolt	8		

目で見える欧州自動車産業ニュース

スイス、乗用車新車登録：2024年1～6月

スイス、乗用車新車登録：2024年1～6月 ブランド・燃料別 (リヒテンシュタインも含む)					
ブランド	登録台数		市場シェア		前年同期比 変動率(%)
	2023年1～6月	2024年1～6月	2023年1～6月	2024年1～6月	
愛馳(Aiways)	25	49	0.0	0.0	96.0
アルファロメオ	797	464	0.6	0.4	-41.8
アルピーヌ	61	68	0.0	0.1	11.5
アストンマーチン	75	110	0.1	0.1	46.7
アウディ	10,188	8,142	8.2	6.7	-20.1
BMW	10,042	11,499	8.1	9.5	14.5
BMWアルピナ	40	39	0.0	0.0	-2.5
キャデラック	44	59	0.0	0.0	34.1
シトロエン	1,415	1,503	1.1	1.2	6.2
ダチア	3,933	4,018	3.2	3.3	2.2
DSオートモビルズ	348	168	0.3	0.1	-51.7
フィアット	2,032	2,061	1.6	1.7	1.4
フォード	5360.0	3,896	4.3	3.2	-27.3
ジェネシス	341	167	0.3	0.1	-51.0
ホンダ	1,010	1,767	0.8	1.5	75.0
現代	4,068	4,175	3.3	3.4	2.6
ジャガー	207	172	0.2	0.1	-16.9
ジープ	1,197	535	1.0	0.4	-55.3
KGM(旧: 雙龍(サンヨン))	134	274	0.1	0.2	104.5
起亜	3,298	3,395	2.7	2.8	2.9
ランドローバー	981	1,348	0.8	1.1	37.4
レクサス	329	480	0.3	0.4	45.9
マセラティ	312	181	0.3	0.1	-42.0
マツダ	2,301	2,353	1.9	1.9	2.3
メルセデスベンツ	10,235	9,622	8.3	7.9	-6.0
MG	-	16	-	0.0	0.0
Mini	2,027	1,612	1.6	1.3	-20.5
三菱自	943	1,377	0.8	1.1	46.0
日産	1,581	1,492	1.3	1.2	-5.6
オペル	1,995	1,860	1.6	1.5	-6.8
プジョー	2,715	2,476	2.2	2.0	-8.8
ポールスター	375	195	0.3	0.2	-48.0
ポルシェ	2,543	3,145	2.1	2.6	23.7
ルノー	4,320	4,320	3.5	3.6	0.0
セアト/クブラ	6,099	4,779	4.9	3.9	-21.6
シュコダ	10,606	10,802	8.6	8.9	1.8
スマート	142	466	0.1	0.4	228.2
スバル	849	747	0.7	0.6	-12.0
スズキ	2,337	2,347	1.9	1.9	0.4
テスラ	4,330	5,197	3.5	4.3	20.0
トヨタ	6,689	6,692	5.4	5.5	0.0
ボルボ	3,768	4,637	3.0	3.8	23.1
フォルクスワーゲン	12,851	11,540	10.4	9.5	-10.2
その他	809	973	0.7	0.8	20.3
合計	123,752	121,218	100.0	100.0	-2.0
4 x 4(4WD)	62,317	63,387	50.4	52.3	1.7
ガソリン	44,081	38,400	35.6	31.7	-12.9
ディーゼル	11,865	12,221	9.6	10.1	3.0
その他	67,806	70,597	54.8	58.2	4.1
その他の内訳:					
ハイブリッド(HEV + MHEV)	33,952	38,573	27.4	31.8	13.6
プラグイン(PHEV* + REX)	10,633	10,623	8.6	8.8	-0.1
電気(BEV)	23,164	21,387	18.7	17.6	-7.7
天然ガス(CNG)	34	4	0.0	0.0	-88.2
水素/電気	21	8	0.0	0.0	-61.9
その他	2	2	0.0	0.0	-
PHEV*: 直輸入なし、並行輸入含む					
出所: auto-schweiz/ASTRA/OFROU / MOFIS					



出所: ASTRA/MOFIS/auto-schweiz

<AI22225>